

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 681 号	氏名	鬼塚 尚子
学位審査委員		主査	蒔田 直昌
		副査	高橋 晴雄
		副査	宇谷 厚志
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、点眼薬の添加防腐剤である塩化ベンザルコウム (BAC) が持つ角膜上皮障害に対して、各種可溶化剤がもたらす保護効果のメカニズムと有効性を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ウサギの角膜上と前房内に電極を留置し、試薬点眼後に経上皮電気抵抗値 (TER) を計測することで角膜上皮障害を定量的に評価し、走査型電子顕微鏡で形態学的変化を解析した。さらに、BAC の防腐作用に対する可溶化剤の減弱効果を各種細菌の最小発育阻止濃度で検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、至適濃度の可溶化剤 NC040 と PS80 は BAC の角膜上皮障害を軽減することが明らかになったが、高濃度の可溶化剤は細菌の防腐効果を減弱することも判明し、配合上の留意の必要性が明らかになった。今後の眼科学研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は眼科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			